

定住自立圏構想
中心市宣言書



平成26年7月16日

苫小牧市

目 次

定住自立圏中心市宣言	1
I 都市機能の集積状況	2
II 都市機能の利用状況	5
III 近隣市町村と連携を想定する取組	7
IV 苫小牧市への通勤通学割合が0.1以上の自治体	8
V 上記のほか苫小牧市と連携する意思を有する自治体	8

定住自立圏中心市宣言

苫小牧市は、太平洋と樽前山の恵みを受け、野鳥の聖域であるウトナイ湖に癒される緑豊かな自然のもと、製紙工場の立地や国内初の内陸掘込港の建設を契機として着実に発展を続け、現在では、紙・パルプ産業に加え、自動車産業、石油精製などの様々な産業の集積地となるなど、産業拠点都市として北海道経済を牽引しています。また、人間環境都市を理想の都市像と定め、郷土の発展を願う先人たちの英知とたゆみない努力によりまちづくりが進められてきました。

気候は、北海道の中でも冬期間の積雪量は少なく晴れの日が多いほか、夏の期間は25℃を超えることは珍しく、過ごしやすい地域として知られております。

本市を含む白老町、厚真町、安平町、むかわ町の東胆振1市4町は、昭和47年に東胆振広域圏振興協議会を組織し、広域的な視野のもとに東胆振1市4町それぞれの特性を活かした機能分担を図り、自然環境、生活環境、生産環境が調和した総合的な地域社会づくりを進めてきました。

さて、現在わが国は、本格的に人口減少社会へ突入し、少子高齢化の急速な進行による社会的扶養の負担が増大することや、産業や経済のグローバル化など、これまで経験したことのない大きな転換期を迎えています。地方においても、将来人口予測は、少子高齢化とも相まって、極めて厳しいものとなっており、この東胆振1市4町における約20年後（2035年）の人口において、現在の約21万5千人から約17万9千人に減少することが推計されていることから、地方自治体の効率的・効果的な行政システムの構築を図ることが求められています。

こうした中、今後も地域の活性化と発展を継続していくため、単独自治体での事業展開に加え、圏域市町が持つ都市機能や地域資源を有効に活用しながら、相互に連携や協力を行い、圏域全体で生活に必要な機能を確保することが、これまで以上に重要となっています。

このような状況をふまえ、本市は、東胆振1市4町とのさらなる連携のもと、定住自立圏構想に基づく「中心市」として、多様な都市機能の充実に努めるとともに、将来にわたり圏域住民が安全で安心して暮らし続けられる地域社会の形成と魅力ある地域づくりに取り組んでいくことを、ここに宣言します。

平成26年7月16日

苫小牧市長 岩倉 博文

I 都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、商業機能、その他行政及び民間分野における都市機能の集約状況は、概ね以下のとおりであり、定住自立圏を形成する中心市としての都市機能を有しています。

分類	都市機能	施設名	備考
医療・福祉	公的医療機関	市立病院	
	初期救急医療機関	夜間・休日急病センター	
	2次救急医療施設	市立病院、王子総合病院	
	災害拠点病院	市立病院、王子総合病院	
	小児2次救急医療	市立病院	
	周産期母子医療	市立病院、王子総合病院	
	市内医療機関	病院 13 機関 診療所 98 機関 歯科診療所 82 機関	
	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム 5 施設 老人保健施設 6 施設 介護療養型医療施設 2 施設 高齢者福祉センター	
	障害者福祉施設	相談支援事業所 5 施設 居宅サービス事業所 33 施設 児童サービス事業所 4 施設 施設サービス事業所 8 施設 共同生活サービス事業所 8 施設 通所サービス事業所 25 施設 移動支援事業所 21 施設 日中一時支援事業所 6 施設 地域活動支援センター 2 施設 移動入浴車派遣事業所 4 施設	
	児童福祉施設	児童館 6 ヶ所 助産施設 3 ヶ所	
	保育所	市立 6 ヶ所 私立 15 ヶ所 認可外 20 ヶ所	
	その他施設	苫小牧保健センター、健康支援センター、子育て支援センター	
教育	大学	苫小牧駒澤大学	
	高等専門学校	苫小牧工業高等専門学校	
	各種専修学校	苫小牧看護専門学校 王子総合病院附属看護専門学校 苫小牧高等商業学校	
	高等学校	北海道苫小牧西高等学校 北海道苫小牧東高等学校 北海道苫小牧南高等学校 北海道立苫小牧工業高等学校 北海道苫小牧総合経済高等学校	

		駒澤大学付属苫小牧高等学校 苫小牧中央高等学校	
	幼稚園	私立 21園	
	その他施設	教育センター	
研究・開発	研究・開発施設	テクノセンター、苫小牧研究林	
文化・スポーツ	文化・社会教育施設	市民会館、文化会館、文化交流センター、中央図書館、科学センター、美術博物館、埋蔵文化財調査センター、勇武津資料館、勇払公民館、豊川コミュニティセンター、沼ノ端コミュニティセンター、植苗ファミリーセンター、住吉コミュニティセンター、のぞみコミュニティセンター、市民活動センター、女性センター、生活館、労働福祉センター、スキルアップセンター とまこまい ほか	
	スポーツ・レク施設	総合体育館、川沿公園体育館、日吉体育館、白鳥アリーナ、沼ノ端スケートセンター、ときわスケートセンター、ハイランドスポーツセンター、緑ヶ丘公園サッカー場・ラグビー場、緑ヶ丘公園陸上競技場、緑ヶ丘球場、少年野球場、清水野球場、日新温水プール、沼ノ端スポーツセンター、緑ヶ丘公園庭球場、屋内ゲートボール場、サイクリングターミナル ほか	
産業・経済	観光施設	樽前山、ウトナイ湖、ノーザンホースパーク、オートリゾート苫小牧・アルテン、ぶらっとみなと市場、樽前ガロー、ミール展示館、錦大沼公園、キラキラ公園、緑ヶ丘展望台、イコロの森、勇払マリーナ ほか	
	商業施設	大規模商業施設 46 店舗 (店舗床面積 1,000 m ² 以上)	
	流通施設	苫小牧市公設地方卸売市場	
	金融機関	北洋銀行 (5 店舗)、北海道銀行 (3 店舗)、北陸銀行、苫小牧信用金庫 (17 店舗)、北海道労働金庫、室蘭信用金庫 (3 店舗)、ウリ信用組合、とまこまい広域農業協同組合、北央信用組合 (2 店舗)	
	郵便局	24 ヶ所 (簡易郵便局含む)	
生活	消費生活	消費者センター	
	消防	消防本部、消防署、出張所 (住吉・日新・錦岡・沼ノ端・新富)、分団詰所 (勇払・植苗)	
	ごみ処理	沼ノ端クリーンセンター、リサイクルプラザ苫小牧、糸井清掃センター	
	その他	高丘霊葬場	
交通	鉄道	JR 室蘭本線・千歳線・日高本線 (苫小牧駅ほか 6 駅)	
	長距離バス	苫小牧⇄札幌 (道南バス、北海道中央バス) 苫小牧⇄新千歳空港 (道南バス) 苫小牧⇄登別温泉 (道南バス) 苫小牧⇄静内、浦河、日高、平取 (道南バス)	

		苫小牧⇄厚真（あつまバス）	
	高速道路	道央自動車道（苫小牧東・苫小牧西 I C）	
	国道	国道 36・234・235・276 号 日高自動車道（沼ノ端西・沼ノ端東・苫東中央 I C）	
	道の駅	道の駅ウトナイ湖（国道 36 号線沿）	
	路線バス	道南バス（市内 21 路線）	
	港湾	国際拠点港湾 苫小牧港（西港・東港） フェリーターミナル（西港・東港）	
	空港	新千歳空港	
公的機関	国の機関 【法務省】	札幌地方検察庁苫小牧支部、札幌入国管理局千歳苫小牧出張所、札幌法務局苫小牧支局、苫小牧地区保護司会	
	【財務省】	苫小牧税務署、苫小牧税関支署	
	【厚生労働省】	苫小牧公共職業安定所、ワークプラザとまこまい、苫小牧労働基準監督署	
	【農林水産省】	胆振東部森林管理署苫小牧・糸井森林事務所、北海道農政事務所苫小牧地域センター、横浜植物防疫所札幌支所室蘭・苫小牧出張所	
	【国土交通省】	苫小牧海上保安署、苫小牧特別地域気象観測所、北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所、室蘭開発建設部（苫小牧道路事務所、苫小牧港湾事務所、苫小牧河川事務所）	
	【環境省】	苫小牧自然保護官事務所	
	【防衛省】	自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所	
	裁判所	札幌家庭裁判所苫小牧支部、札幌地方裁判所苫小牧支部、苫小牧簡易裁判所	
	北海道の機関	苫小牧警察署、室蘭建設管理部苫小牧出張所、北海道企業局苫小牧地区工業用水道管理事務所、苫小牧道税事務所、森林室、苫小牧保健所	
	その他施設	苫小牧年金事務所、苫小牧港管理組合	

Ⅱ 都市機能の利用状況

・ 苫小牧市立病院の利用状況内訳（平成 24 年度）

（単位：人）

	入院	構成比率(%)	外来	構成比率(%)	救急搬送	構成比率(%)
苫小牧市	65,328	64.8	150,845	71.9	2,011	74.0
白老町	6,461	6.4	12,598	6.0	134	4.9
厚真町	1,655	1.7	3,005	1.4	45	1.7
安平町	1,926	1.9	4,081	2.0	71	2.6
むかわ町	4,473	4.4	6,671	3.2	100	3.7
その他	20,988	20.8	32,519	15.5	358	13.2
合計	100,831	100	209,719	100	2,719	100

（市立病院調）

・ 苫小牧市への緊急搬送人数（平成 25 年）

（単位：人）

	搬送人数	うち本市へ搬送	比率(%)
白老町	874	414	47.4
厚真町	181	127	70.2
安平町	363	223	61.4
むかわ町	434	210	48.4
合計	1,852	974	52.6

（関係機関調）

・ 時間外救急外来患者状況（平成 25 年度）

（単位：人）

	急病センター	構成比率(%)	市立病院	構成比率(%)	王子総合病院	構成比率(%)
苫小牧市	17,280	84.0	3,561	76.7	3,857	74.3
白老町	742	3.6	211	4.6	305	5.9
厚真町	256	1.3	74	1.6	98	1.9
安平町	358	1.7	93	2.0	157	3.0
むかわ町	291	1.4	145	3.1	152	2.9
その他	1,647	8.0	557	12.0	623	12.0
合計	20,574	100	4,641	100	5,192	100

※「急病センター」：苫小牧市夜間・休日急病センター

（市健康支援課調）

・ 苫小牧市立中央図書館利用状況（平成 25 年度） （単位：人）

	貸出人数	構成比率(%)	貸出資料数	構成比率(%)
苫小牧市	185,087	97.7	820,657	95.8
白老町	962	0.5	4,596	0.5
厚真町	205	0.1	933	0.1
安平町	404	0.2	1,780	0.2
むかわ町	647	0.3	1,855	0.2
団体貸出	1,134	0.6	24,341	2.9
相互貸出	518	0.3	1,157	0.1
その他	507	0.3	1,644	0.2
合計	189,464	100.0	856,963	100.0

（市生涯学習課調）

・ ごみ処理の状況 （単位：トン）

	平成25年度		平成24年度	
	ごみ処理量	構成比率(%)	ごみ処理量	構成比率(%)
苫小牧市	66,451	95.8	70,673	96.1
厚真・安平町	2,901	4.2	2,854	3.9
合計	69,352	100.0	73,527	100.0

（市清掃事業課調）

・ 通勤通学割合 （単位：人）

	常住する就業者数・通学者数 ※自宅従事者を除く	うち苫小牧市への就業者数・通学者数		通勤通学割合 (%)
白老町	7,751	1,151		14.85
厚真町	1,943	316		16.26
安平町	3,697	496		13.42
むかわ町	4,024	366		9.10

（平成 2 2 年度国勢調査）

Ⅲ 近隣市町村と連携を想定する取組

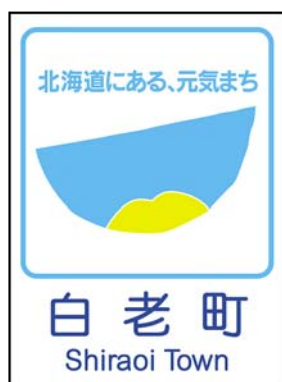
- (1) 生活機能の強化に関すること
 - ア 医療
 - ・ 圏域住民の安全・安心な生活を確保するため、広域医療体制の充実と救急医療体制の強化に向けた取組を推進する。
 - イ 教育
 - ・ 心豊かでたくましい人材の育成をめざし、社会教育施設の広域的な利用を推進する。
 - ウ 産業振興
 - ・ 農水産物や地場食材の活用によるブランド化の確立をはじめ、地域資源の活用による広域的な取組を推進する。
 - ・ 鳥獣による農業被害を防止する取組を推進する。
 - エ 防災
 - ・ 圏域住民の安全・安心を確保するため、防災体制の充実を図る。
 - オ 環境
 - ・ ごみの適正処理やリサイクルの推進により、循環型社会の構築を図る。
- (2) 結びつきやネットワークの強化に関すること
 - ア 地域公共交通
 - ・ 圏域内の地域公共交通を確保するとともに、各種輸送機関との相互連携による圏域住民が利用しやすい地域公共交通システムの構築を図る。
 - イ 道路等の交通インフラの整備
 - ・ 地域間交流や物流を支える交通ネットワークの整備を促進を図る。
- (3) 圏域マネジメント能力の強化に関すること
 - ・ 合同職員研修の実施により、圏域全体の人材の育成と確保を図る。

Ⅳ 苫小牧市への通勤通学割合が0.1以上の自治体

本市への通勤通学割合が、0.1以上の町は、次のとおりです。

	常住する就業者数・通学者数 (人) ※自宅従事者を除く	うち苫小牧市への就業者数・通学者数	通勤通学割合
白老町	7,751	1,151	0.149
厚真町	1,943	316	0.163
安平町	3,697	496	0.134

(平成22年度国勢調査)



Ⅴ 上記のほか苫小牧市と連携する意思を有する自治体

本市への通勤通学割合は0.1未満であるが、定住自立圏構想を推進するため、連携する意思を有する町は、次のとおりです。

むかわ町





定住自立圏構想 中心市宣言書

苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6039

FAX 0144-34-7110
